

第44回地方公務員共済組合連合会資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：令和5年6月27日（火） 11：00～12：00
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席委員：
 - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・竹原委員
 - ・徳島委員
4. 議 事
 - （1）令和4年度各積立金の管理及び運用に関する運用報告書（地共連）
 - （2）令和4年度各積立金のリスク管理の状況（地共連）
 - （3）退職等年金給付調整積立金の基本ポートフォリオの検証について
 - （4）令和4年度及び令和5年度の運用の振り返りについて

〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換及び質疑応答が行われた。

- （1）令和4年度各積立金の管理及び運用に関する運用報告書（地共連）
 - 長期的な運用である年金として、ESG投資を行うのであれば、ESGの格付けが長期的な投資収益にプラスの影響を与えているといった分析の裏付けが必要である。
今後、ESGのインデックス投資を行う際には、ファンドの運用者を通じて、長期的なパフォーマンスの分析を求めるべきではないか。
 - オルタナティブ投資の超過収益率への貢献について、年度の運用の振り返りや各資産の超過収益の要因、オルタナティブ投資のページで記載してもらいたい。
 - 各運用機関の直近5年の超過収益率について、国内株式と外国株式でマイナスの幅の深いものが見られる。長期で見れば問題のあるところについては対処するということであるが、引き続きその方針は遵守されているという理解でよい。

- 年度の運用の振り返りを記載することは、良い取り組みだと思うが、PDCAを意識して表面的な解説にとどまらないようにお願いしたい。
- (2) 令和4年度各積立金のリスク管理の状況（地共連）
- オルタナティブ投資について、PE、バンクローンでは情報技術が、インフラでは通信が構成セクター別でトップになっている。こういった業種が、今一番収益機会が大きいということは理解しているが、構成セクターが偏ることで、資産横断的にダメージを負うことがないように注意をしてもらいたい。
 - オルタナティブ投資のセクター別や地域別のウェイトが分かるようになっているのは良い。こうした状況について、リスク管理、市場の状況などの観点からどう考えるのか、オルタナティブ投資の年度計画や振り返りの説明の際に聞かせてもらいたい。
- (4) 令和4年度及び令和5年度の運用の振り返りについて
- 資産配分効果の影響が、年度を通して大きいことから、基本ポートフォリオからできるだけ乖離しないようなリバランスを行ったほうがよいのではないか。
先物を使ったリバランスなども検討の対象になるのではないか。

以上